

令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

医療介護保険課

1 施設の概要等

施設名	府中市デイサービスセンターほのぼの苑		
所在地	府中市上下町深江10488番地3		
設置目的	介護保険及び高齢者福祉の増進を図り、各種サービスを総合的に供与するため		
施設・設備	ほのぼの苑建物		
指定管理者	R7.4.1	～	R12.3.31 社会福祉法人 翁仁会

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)		
	R4	5,396 人	5,747 人	212 人	351 人	106.5%	%
	R5	6,017 人	5,125 人	-622 人	-892 人	85.2%	%
	R6	6,072 人	4,442 人	-683 人	-1,630 人	73.2%	%
	R7	6,120 人	5,347 人	905 人	-773 人	87.4%	%
	R8	6,180 人	人	人	人		%
増減理由	在宅生活がギリギリの利用者が増え、複数回利用者が増えた。(平均利用者:令和6年度 16.2名/日 ⇒ 令和7年度 17.2名/日 稼働率:令和6年度 64.8%⇒令和7年度 68.8%) 新規利用者が22名あるも28名の利用中止者があり、登録者数は減少している。中止理由として、ご逝去:8名 他施設入所:13名 サービスの変更:6名があった。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】		【対象・人数】	
	連絡ノートのやりとり		全利用者(60名程度)	
	送迎時のコミュニケーション			
	【主な意見】		【その対応状況】	
	迎えや送り時間の調整		出来る限り調整をしている	

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考	
報告書	年度	○	事業報告書	
	月報	×		
	日報(必要随時)	×		
管 理 運 営 会 議		【特記事項等】		
0 回 会場		・必要に応じて随時会議を実施する		
現 地 調 査 (実 施 月)		【指定管理者の意見】		
		・必要に応じて随時協議を実施。		
1月	2月	3月	4月	5月
【市の対応】				
6月	7月	8月	9月	10月
				○
11月	12月			

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	0	0		R4	50,967	3,310
	R5	0	0		R5	45,306	-5,661
	R6	0	0		R6	45,489	183
	R7	0	0		R7	48,462	2,973
	R8	0	-		R8		

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R6決算額	R7決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料		0	0	
	料金収入	45,489	48,462	2,973	稼働率向上・おやつ代20円増
	その他収入		200	200	補助金収入
	計(A)	45,489	48,662	3,173	
	支出				
	人件費	29,335	32,075	2,740	常勤増員・非常勤減・昇給
	光熱水費	4,918	3,942	-976	ガスと電気の使用精査による使用料減
	設備等保守点検費	150	150	0	
	清掃・警備費等	3,182	2,898	-284	管理費上昇
	施設維持修繕費	316	234	-82	
	事務局費	7,483	6,249	-1,234	全体的に費用減少
	その他支出	3,083	3,389	306	
	計(B)	48,467	48,937	470	
	収支①(A-B)	-2,978	-275	2,703	
自主事業	収入(C)	18	40	22	
	支出(D)	19,056	3,589	-15,467	運営費のサービス間の移動なし
	収支②(C-D)	-19,038	-3,549	15,489	
合計収支(①+②)		-22,016	-3,824	18,192	

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	「楽しく」「元気に」「在宅生活の継続」を意識した取り組みを行っています。今までの「集団の体操」や「レクリエーション」に「個別の運動」も取り入れました。通所用者の高齢化・重度化は横ばいで、体調不良等での入院後に在宅での生活が難しくなり、ショート併用利用や老健入所などで中止となる事が増えています。徐々に登録者数がへっている状況となっています。	府中市北部圏域の高齢者の生活を支える法人として、地域とのつながりを重視して運営され、適切に運営が行われている。 施設の維持管理については、大規模修繕等の必要に応じて計画的に実施していく。 利用者数については、増加となっているが、登録者の利用動向を見つつ、新規利用に向けた取組が必要である。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	各種設備の老朽化がみられ大きな設備の修繕などが課題となっている。 利用者の「元気」にいつながる取り組みを考え、「在宅生活の継続」を意識したサービス事業所となる。 通所介護のサービス内容の周知が地域住民にできていない。地域とのつながりを考えた運営を行い、認知度をあげる。	○地域のサービス需要を反映した事業実施 ○安定的な事業継続に向けた取組 ○登録者数増加への取組